

東日本大震災ルーテル教会救援

Japan Lutheran Emergency Relief 【JLER】

ルーテル教会救援 現地活動 月次報告 No.5

2012年3月度 活動報告 (2012年4月27日発行)



東日本大震災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。
またルーテル教会救援の活動にご理解・ご協力いただいている
皆さまに心より感謝いたします。



4月になり、新年度がはじまりました。今季の冬は、地元の方も驚かれるほど、雪の多い冬でした。桜の開花も例年より遅く、4月下旬になって、ようやく開花しはじめました。長かった冬も終わり、日に日に春が近づいています。スタッフそれぞれ、季節の移り変わりを感じながら、日々活動を続けています。

2012年3月の活動をご報告いたします。



【となりびと】4月を迎え、新体制になりました

ルーテル支援センター「となりびと」は、4月1日の礼拝から新しい体制で歩き出しました。JLERルーテル教会救援派遣牧師として伊藤文雄牧師にかわり、野口勝彦牧師が着任しました。また支援コーディネーターであった立野泰博牧師、スタッフの濱村美鹿子さん・西田ちゆきさんが活動を終了しました。4月1日現在の「となりびと」のスタッフは下記のとおりです。

・ルーテル支援センターとなりびと（事務所現住所：宮城県仙台市青葉区宮町）スタッフ

派遣牧師 野口勝彦

スタッフ 佐藤文敬(チーフスタッフ)・佐々木潤・千葉一・鶴見政和・三浦孝子・押野美穂(以上7名)

3月で活動を終えた派遣牧師・現地スタッフからご挨拶



この一年間、全国の諸教会の皆さん、殊に女性会の方々から、石巻市の河北町、北上町の仮設住宅での「おすそわけ」「お茶っこ会」のために賜りましたご支援に心から感謝申し上げます。皆様の力強い応援、また立野泰博牧師(支援コーディネーター)の現地での弛まぬ指導無しにはとても続けることはできませんでした。西田さん、鶴見さんへの伴走も楽しかった。

「派遣牧師」としての任期は終了しますが、出会わせていただいた現地の大切な方々とは今後も、いのち許される限りは、関わり続けさせていただきま。現に、この四月からはじまった東北大学での「臨床宗教師」養成講座の起ち上げのために他宗教の方々と共に、新たな課題に取り組ませていただいています。感謝。(派遣牧師 伊藤文雄)



私が活動に参加したのは震災から半年近く経ち、避難所から仮設支援へと移り変わる時期でした。全国から届けられる大量の物資を、自立を促す仮設支援でどう配布するのか。とても複雑な支援体制の中、活動に関わらせて頂きました。人が人を支援する難しさを感じる時間でもありましたが、『となりびと』として少しだけ寄り添うことは出来たように思います。今後一日も早い復興を祈っています。(濱村 美鹿子)



昨年12月から延べ40回を超えるお茶っこ会を開催してきました。「いつも集まるメンバーは同じだけ来ておしゃべりしたり、手芸をしたりするだけで気持ちが落ち着く」とおっしゃった方がおられました。このような感想に励まされ続けてこられたのだと思います。スタッフとしては3月で役割を終えますが、またボランティアとして来たいと思います。(西田 ちゆき)